



【本山地区の人口】1月4日時点
世帯数:1,268世帯(-2世帯)
男 性:1,106人(-1人) 女 性:1,247人(0人)
合 計:2,353人(-1人)
※()内は、前月比

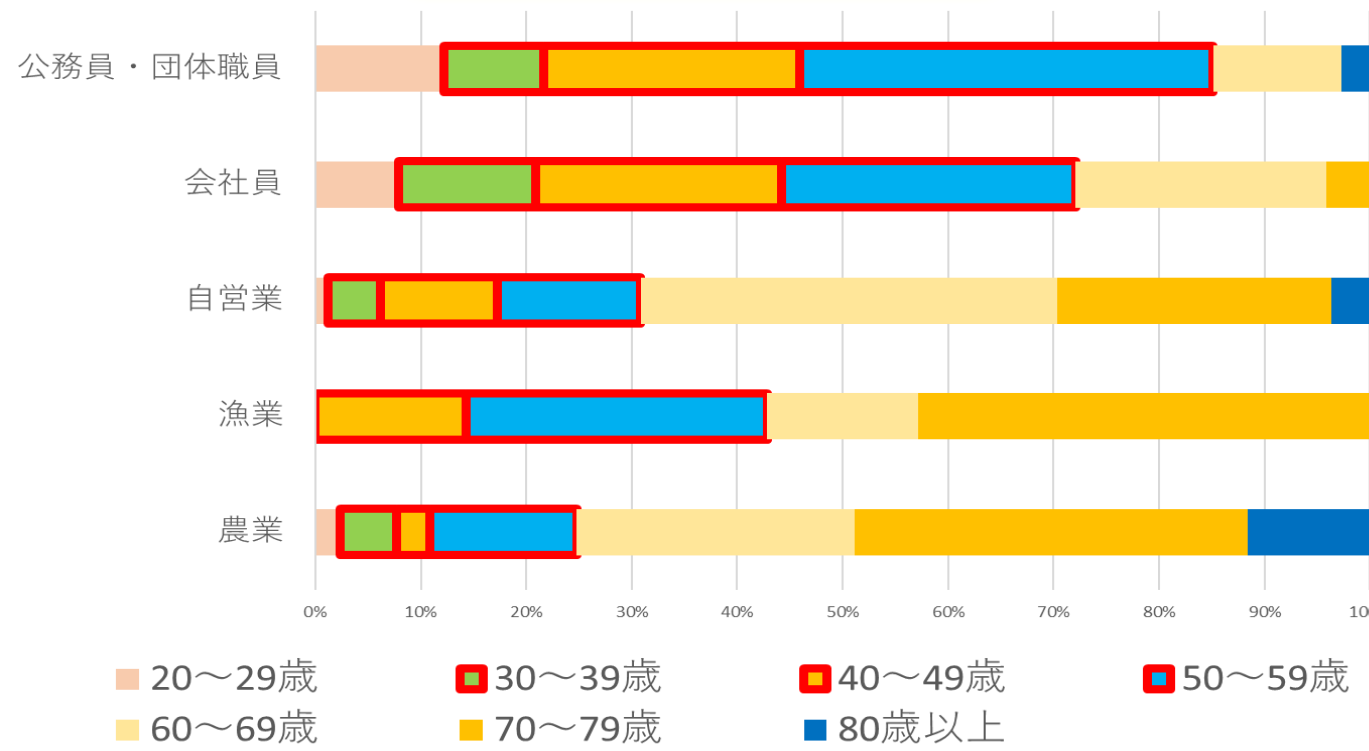
住民アンケート分析結果

先月号の広報誌にて、回収率を77.9%と掲載しておりましたが、実際集計作業が終了したところ誤差がありました。大変申し訳ございません。実際の回収率は76.4%でした。設問が多いアンケートでしたが多くの方にご回答いただきました。本当にありがとうございました。

今月号では、分析結果を皆様へお知らせいたします。ぜひ、ご一読下さい。

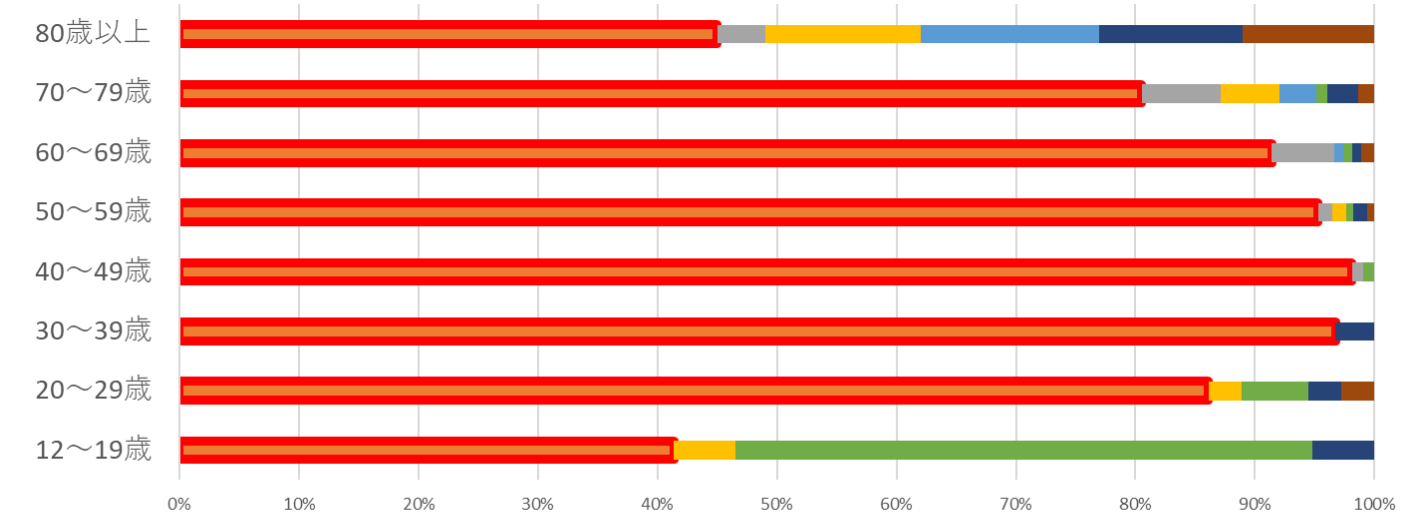


世代別の職業分布



農業の世代別を見ると、60歳以上の方がほとんどを占めています。時代の変化とともに、職業も様々ですがこれから先の担い手不足というところを少し感じます。
80歳以上の方でも自営業・農業をされている方いますね。いつまでも元気で頑張っていってほしい方がいることが分かります。

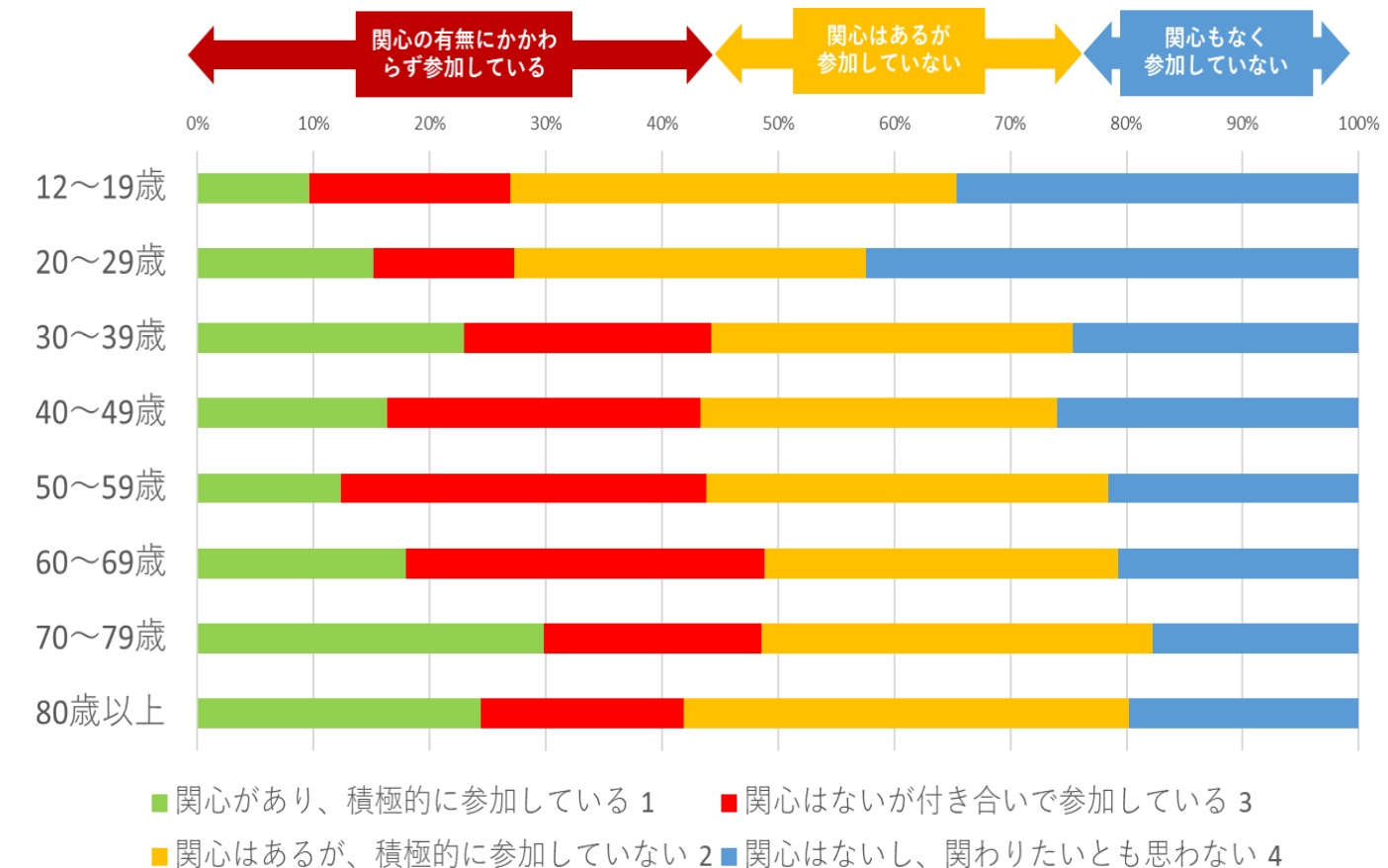
世代別の移動手段の違い



自動車 1 ■ バイク（原付を含む） 2 ■ バス 3 ■ タクシー 4 ■ 自転車 5 ■ 徒歩 6 ■ その他 7

12～19歳の世代以外は、自動車の移動が1位でした。島に住む私たちにとって自家用車は必要不可欠です。

地域活動への関心

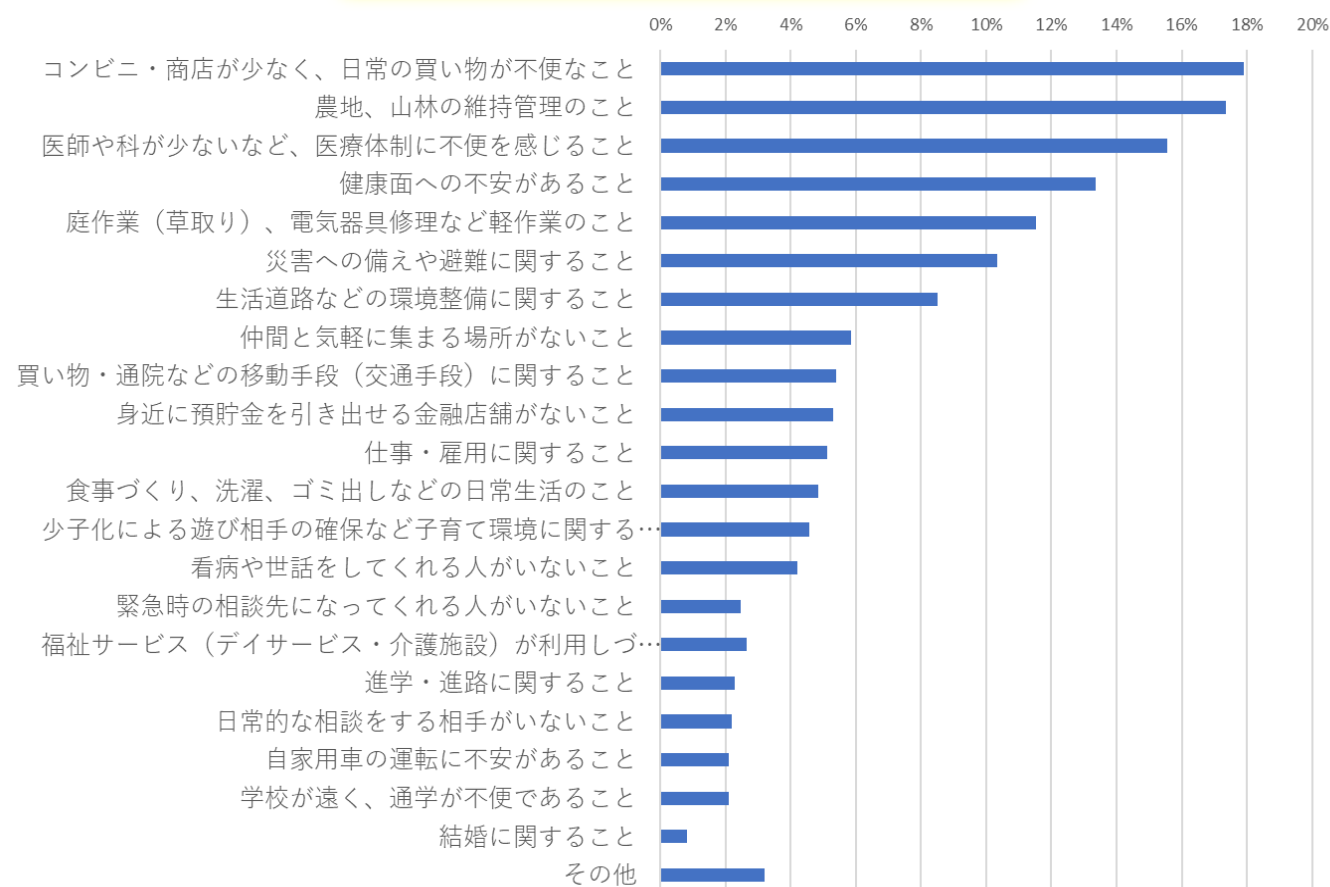


関心があり、積極的に参加している 1 ■ 関心はないが付き合いで参加している 3 ■ 関心はあるが、積極的に参加していない 2 ■ 関心はないし、関わりたいたも思わない 4 ■

「関心はないが付き合いで参加している」が目立つように感じます。

裏へと続きます→→

—暮らしの中のお困りごと—



—世代別・暮らしの中のお困りごと—

	12～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
1位	コンビニ・商店が少なく、日常の買い物が不便なこと	コンビニ・商店が少なく、日常の買い物が不便なこと	コンビニ・商店が少なく、日常の買い物が不便なこと	コンビニ・商店が少なく、日常の買い物が不便なこと	医師や科が少ないなど、医療体制に不便を感じる	農地、山林の維持管理のこと	健康面への不安があること	健康面への不安があること
2位	進学・進路に関する事	仲間と気軽に集まる場所がないこと	少子化による遊び相手の確保など子育て環境に関する事	生活道路などの環境整備に関する事	農地、山林の維持管理のこと	医師や科が少ないなど、医療体制に不便を感じる	コンビニ・商店が少なく、日常の買い物が不便なこと	農地、山林の維持管理のこと
3位	仲間と気軽に集まる場所がないこと	災害への備えや避難に関する事	医師や科が少ないなど、医療体制に不便を感じる	少子化による遊び相手の確保など子育て環境に関する事	コンビニ・商店が少なく、日常の買い物が不便なこと	健康面への不安があること	農地、山林の維持管理のこと	庭作業（草取り）、電気器具修理など軽作業のこと

お困りごとを世代別に分けて見てみると、非常に分かりやすい結果がでています。

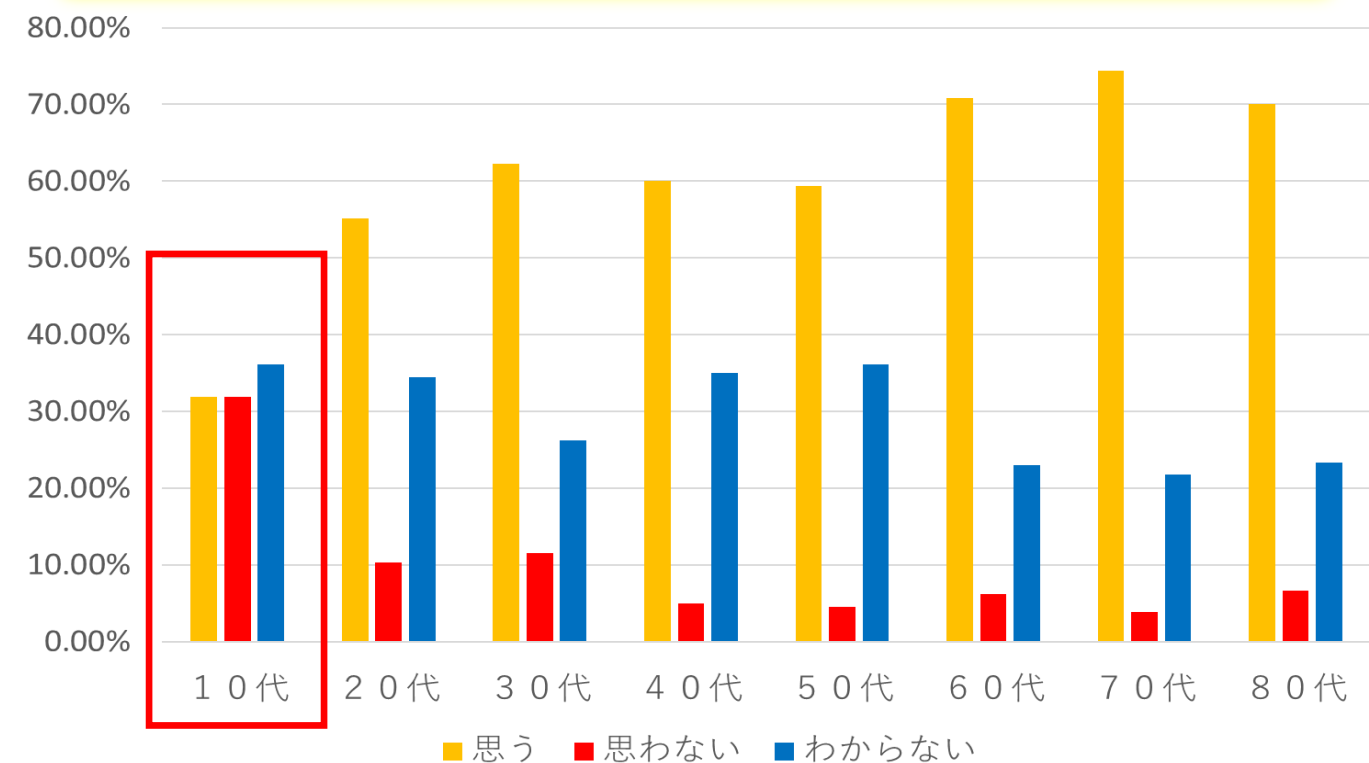
若い世代は圧倒的に「コンビニ・商店が少なく日常の買い物が不便なこと」の意見が多く上がっています。

また、学生ならではの困りごととして進学・進路について、仲間との交流の場がないなど。

年齢が少し上がり子育て世代になると少子化・医療体制について。

50歳以上になると農地、山林の維持管理のこと・健康面などが上がっています。

—あなたは、自分の子どもにもこの地域・集落に住んで欲しいと思いますか—



10代の方の回答件数は全体的に少なかったのですが、「自分の子どもにもこの地域・集落に住んで欲しいと思いますか」の問いに対しては、思うの回答と同数で思わないという回答もありました。

—地域で実施している活動における重要度に対する不満足度—

世代間の特徴

全世代共通	世代のみで現れた特徴
子育てなどの相談や交流ができる場や人について	草刈り、河川清掃など、道路・河川の維持管理について
見守り、配食サービスなど、生活支援活動について	地域の茶の間など、生きがいがづくり活動について
状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動について	植栽・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全について
住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動について	30～40歳代のみ
日常的な不安や悩みが相談できる場や人について	買い物・通院など、移動支援活動について
農地・山林などの維持管理について	スポーツサークルなど、地域内のスポーツ活動について
	電子メールなど、ITを活用した住民向けの広報・連絡について
	ながらパトロールなど、子どもの安全を支える活動について
	70歳代以上
	子ども会など、主に子ども対象の行事について

—住民の声(実際の意見を要約して記載しています)—

- ・ゴミ捨てのマナーが悪い
- ・旧野道の草刈りをして散歩できるようにしてほしい
- ・町内会費が高い
- ・スピード違反している(スクールゾーンの意図がない)
- ・野焼きが多く窓が開けられない
- ・自転車のマナーが悪い
- ・町内の防犯灯が少ない
- ・地域の人との交流がない
- ・空き地が多い
- ・本山はよかところ！
- ・防災無線の放送が聞こえづらい
- ・地域の人優しい
- ・井戸等危険個所が所々ある
- ・子供の遊ぶ場所(公園)がない

今後の本山地区まちづくり協議会の活動において、大変貴重なアンケート結果となりました。

お忙しい中、ご協力いただいた皆様には本当に感謝いたします。

ありがとうございました。

本山地区集落支援員:新